







## 陸前高田 「うごく七夕まつり」

・宇野 純子会員

青森から6名、木村会長家族、渡邊会員、尾上総合高校教頭先生と私が参加しました。陸前高田に入ると毎回道路が変わって、嵩上げ工事で通行止めも多く建物も建ち初めているが復興にはまだ年数が掛かります。うごく七夕は、七夕飾りや電飾で飾り付けられた山車の上に笛吹きや太鼓を載せ、威勢良く歩き、囃子や太鼓を聞くと魂が揺さぶられる気持ちになります。

ねぶたの台車はタイヤですが、山車は木製の台車でモーターも無く人力で引いて曲がる時の力強さは凄いです。

参加人数も平日だと少ないが、毎年茨城のスーパー「カスミ」さんが新人研修で参加してくれるので心強く助かっていました。

陸前高田で色んな出会いがあり楽しかったです。祭りが終わった後の懇親会は最高でした。(帆立、サザエ、焼き肉・・・美味しかったです)

柴田さんご夫妻、福田さんご家族の祭りに対する苦勞があったと思いますが、事故もなく無事に祭りが終わり感動をもらえて感謝しております。

来年も8月7日には、孫を連れて参加します。皆さんも機会がありましたら参加して一緒に感動しましょう。

カルチャロードに陸前高田RCが応援にきてくれます。



### 今回の出席報告

◆出席者  
移動例会 2名

### 第202回E例会(7/26)の出席報告

◆出席者  
E例会 10名  
地区財団セミナー 1名  
計11名

修正出席率 35.48%

会員数 : 31名 (出席義務 : 31名 ・ 出席免除 : 0名)

## ROTARY豆知識 ロータリー・ソング ①

ロータリー創立後、三年間シカゴRCでは奉仕強調派と親睦派との間に激しい討論があり、クラブの崩壊寸前となったとき、印刷業のハリー・ラグルスが諸君歌を唄おうではないかと提案したのが始まりと言われている。日本で唄われる「我等の生業」は一業一人制のロータリアンがクラブを結成し、平和と親睦の目的に向かって、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・の四大部門を通じて努力するという内容である。特に歌詞には職業奉仕の重要性が強く謳われている。